

# 地域福祉に関する意識調査

## ～ご協力のお願～

市民の皆さまには、日頃より市政にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本市では現在、「地域福祉計画」の改訂に取り組んでいます。この調査は、市民の皆さまの地域に対する思い、日々の生活をする中で抱えている様々な課題、地域活動やボランティア活動の参加状況・利用意向などをお聞きし、計画づくりにあたっての基礎資料とするために実施するものです。

つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、本調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年●月

鳥取市

- この調査は、無作為に抽出した市内にお住まいの18歳以上の方（2,500人）を対象に実施しております。
- 回収された調査内容は、計画策定に関する目的以外に使用することはありません。
- この調査は無記名のため、個人が特定されることはありません。

### 《ご記入に当たって》

- ご回答は、令和5年●月1日時点の状況を、封筒のあて名のご本人が行ってください。
- ご本人がお答えになりにくい、あるいはできない場合は、ご家族の方などがご本人の立場になってご回答いただいても構いません。
- それぞれの設問について、当てはまる番号に○をしてください。また、最終設問の「自由記述」については、お考えやご意見を記入してください。

ご記入いただいた調査票は、**令和5年●月●日（△）までに**  
同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにポストに投函してください。

### 《お問い合わせ先》

鳥取市 福祉部 地域福祉課

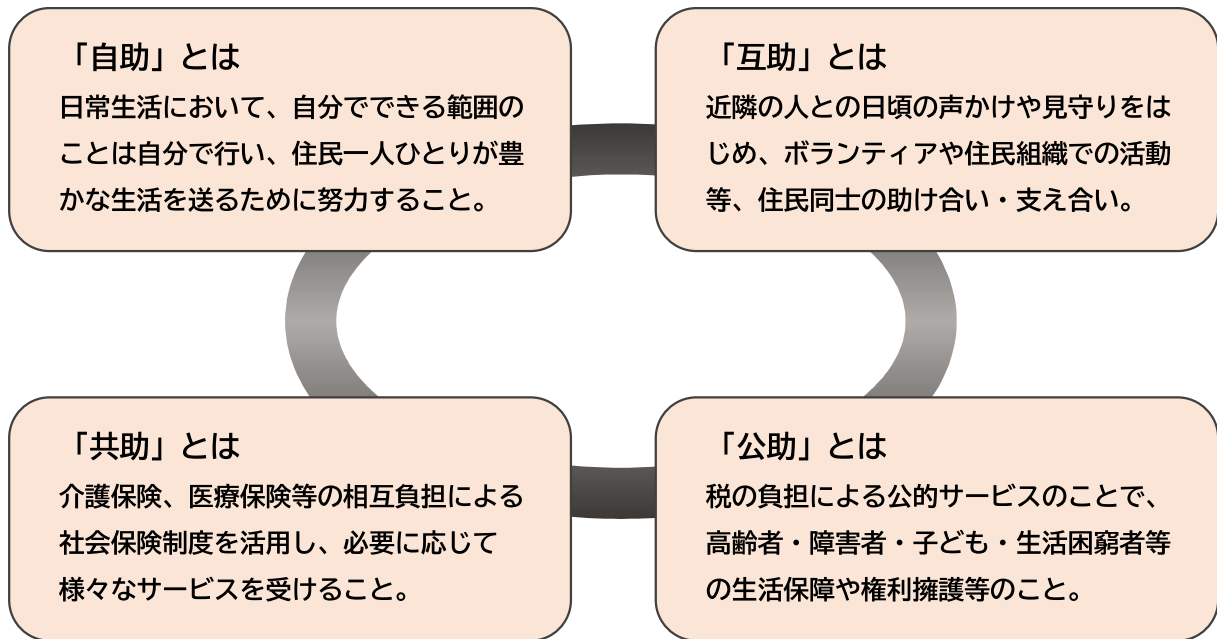
〒680-8571 鳥取市幸町71番地

電話：0857-30-8202（直通） F A X：0857-20-3906

## 「地域福祉」とは

「地域福祉」とは、一人ひとりが地域社会の一員であることを認識しつつ、助け合い・支え合いの精神のもとに安心して暮らせるよう、「自助」・「互助」・「共助」・「公助」を包括的に連動させ、地域の福祉課題の解決に取り組むことです。

### ■ 「自助」・「互助」・「共助」・「公助」について



### ■ 求められる地域福祉の姿とは？

○ 少子高齢化や家族形態の変化にともない、一人ひとりが抱える生活課題も多様化しています。これらに対応するには、個人の努力や行政による福祉サービスだけでは不十分であり、地域で暮らす住民が身近にある様々な福祉ニーズに関心を寄せ、**地域全体で課題の解決に取り組むこと**が求められています。

○ 社会構造や人々の暮らしの変化を踏まえ、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」・「受け手」という関係を超えて、地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながり、**持続可能な地域を創造していく**ことが必要です。

○ 「自助」・「互助」・「共助」・「公助」を、時代に即した形で有機的・総合的なネットワークとして結び付け、そのネットワークの力によって福祉課題を解決していくことが、求められる地域福祉の姿と言えます。



## 1. あなた自身のことについて

**問 1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)**

※男女の2択で選べない場合、「3.」を選んでください。

- |       |       |        |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

**問 2 あなたの年齢をお答えください。(1つに○)**

- |           |         |           |
|-----------|---------|-----------|
| 1. 18～29歳 | 2. 30歳台 | 3. 40歳台   |
| 4. 50歳台   | 5. 60歳台 | 6. 70～74歳 |
| 7. 75歳以上  |         |           |

**問 3 あなたの現在の職業をお答えください。(1つに○)**

- |              |                     |        |
|--------------|---------------------|--------|
| 1. 被雇用者（常勤）  | 2. 被雇用者（非常勤）        | 3. 自営業 |
| 4. 雇用主（会社経営） | 5. 無職（家事専業・年金受給者含む） |        |
| 6. 学生        | 7. その他（             | ）      |

**問 4 お住まいの地区をお答えください。(下記表から該当する番号を記入)**

あなたの地区は

1	2	3	4	5	6	7
久松	醇風	遷喬	修立	日進	明德	富桑
8	9	10	11	12	13	14
稲葉山	岩倉	城北	中ノ郷	浜坂	美保	美保南
15	16	17	18	19	20	21
賀露	湖山	湖山西	千代水	末恒	松保	湖南
22	23	24	25	26	27	28
豊実	明治	東郷	大正	美穂	大和	神戸
29	30	31	32	33	34	35
倉田	面影	米里	津ノ井	若葉台	国府町	福部町
36	37	38	39	40	41	
河原町	用瀬町	佐治町	気高町	鹿野町	青谷町	

**問 5 あなたは今の住所にお住まいになられて何年になりますか。(1つに○)**

- |           |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 5年未満   | 2. 5～9年   | 3. 10～19年 | 4. 20～29年 |
| 5. 30～39年 | 6. 40～49年 | 7. 50年以上  |           |

**問 6 あなたの世帯の構成をお答えください。(1つに○)**

- |                             |                    |
|-----------------------------|--------------------|
| 1. ひとり暮らし(単身世帯)             | 2. 1世代世帯(夫婦のみの世帯等) |
| 3. 2世代世帯(子と親の世帯等)           |                    |
| 4. 3世代以上の世帯(孫と子と親、子と親と祖父母等) |                    |
| 5. その他( )                   |                    |

**問 7 あなたの同居家族の中に、次の方(あなた自身を含む)はいますか。  
(当てはまる番号すべてに○)**

- |                    |            |              |
|--------------------|------------|--------------|
| 1. 乳幼児(小学校入学前の子ども) | 2. 小学生     | 3. 中学生       |
| 4. 高校生             | 5. 65歳以上の方 | 6. 介護を必要とする方 |
| 7. 障がいのある方         | 8. いずれもない  |              |

## 2. 地域とのかかわりについて

**問 8 あなたは自治会に加入していますか。(1つに○)**

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

**問 9 あなたは、ふだん近所や地域の人とどのようなつきあいをしていますか。  
(1つに○)**

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1. 日常から親しくつきあいをしており、困ったときに助け合える |
| 2. たまに立ち話などをする程度のつきあい           |
| 3. 会えばあいさつする程度のつきあい             |
| 4. つきあいはほとんどしていない               |

**問 10 あなたは、地域の行事や町内活動などに参加していますか。  
(当てはまる番号すべてに○)**

- |                                 |                  |
|---------------------------------|------------------|
| 1. 自治会(町内会・集落)活動                | 2. 女性団体活動        |
| 3. 老人クラブ活動                      | 4. 子ども会やPTA活動    |
| 5. 防犯活動・交通安全活動                  | 6. 高齢者支援活動       |
| 7. 文化・スポーツ活動                    | 8. 消防団活動         |
| 9. 公民館活動                        | 10. 子育て支援活動      |
| 11. 障がい者支援活動                    | 12. まちづくり・村づくり活動 |
| 13. 宗教行事                        | 14. 祭り・盆踊りなど     |
| 15. 子どもや青少年の育成活動                | 16. その他( )       |
| 17. 参加したことがない → <b>問 10-1</b> へ |                  |

「1.」～「16.」を選んだ方は問 11 へお進みください。

**問 10-1 参加したことがない理由は何ですか。(当てはまる番号すべてに○)**

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 1. 仕事を持っているので時間がない   | 2. 家事や育児に忙しくて時間がない  |
| 3. 病人・高齢者などの介護で時間がない | 4. 家族の協力・理解がない      |
| 5. 健康や体力に自信がない       | 6. 行事や活動に関する情報がない   |
| 7. 人間関係がわずらわしい       | 8. 子どもをみてくれる人や施設がない |
| 9. 身近なところに活動の場がない    | 10. 興味の持てる活動が見つからない |
| 11. 一緒に活動する仲間や友人がいない | 12. 活動に経費がかかる       |
| 13. きっかけがない          | 14. その他 ( )         |

**3. 地域の助け合いについて**

**問 11 あなたは「福祉<sup>(※)</sup>」に関心をお持ちですか。(1つに○)**

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1. とても関心がある | 2. やや関心がある   |
| 3. あまり関心がない | 4. まったく関心がない |

※「福祉」とは、特定のだれかだけでなく、みんなが幸せになれるような取組や活動のこと。

**問 12 あなたは、今までに福祉に関するボランティア活動に参加したことがありますか。(1つに○)**

- |                 |   |
|-----------------|---|
| 1. 現在、参加している    | → <input type="button" value="問 12-1 へ"/> |
| 2. 以前、参加したことがある | → <input type="button" value="問 12-1 へ"/> |
| 3. 参加したことがない    | → <input type="button" value="問 13 へ"/>   |

**問 12-1 あなたは、どのようなボランティア活動にかかわっています(いました)か。(当てはまる番号すべてに○)**

- |                                 |                    |
|---------------------------------|--------------------|
| 1. 子どもに関する活動                    | 2. 高齢者に関する活動       |
| 3. 障がいのある人に関する活動                | 4. 生活困窮者に関する活動     |
| 5. 地域づくりに関する活動                  | 6. 青少年の健全な育成に関する活動 |
| 7. 健康づくりや栄養・食生活に関する活動           | 8. 環境美化活動          |
| 9. 防災・防犯に関する活動                  | 10. 災害ボランティア活動     |
| 11. スポーツ・文化・レクリエーション・生涯学習に関する活動 |                    |
| 12. その他 ( )                     |                    |

問 13 あなたは今後、次の分野のボランティア活動に参加したいと思いますか。  
 (ア～エの各項目について1つに○)

名称	是非、参加したい	友人などが一緒なら参加したい	時間があれば参加したい	参加したくない
ア. 子ども	1	2	3	4
イ. 高齢者	1	2	3	4
ウ. 障がい者	1	2	3	4
エ. 生活困窮者 <sup>(※)</sup>	1	2	3	4

※「生活困窮者」とは、就労や収入、住まいなどに困っていて支援が必要な人のこと。

#### 4. 不安や悩み、相談先について

問 14 あなたご自身のことについて不安に思っていることや悩んでいることはありますか。(当てはまる番号すべてに○)

1. 日常の金銭管理	2. 自身や家族の身体のこと(病気や障がいなど)
3. 契約のこと(サービス利用など)	4. 家や土地などの財産管理や処分
5. 相続や遺言	6. 自分の身の回りの世話
7. 自身や家族の介護のこと	8. 家庭内での人間関係
9. 地域での人間関係	10. 仕事に関すること
11. 子育てや教育のこと	12. 通院・買い物などの移動手段のこと
13. 経済的なこと(世帯の収入など)	14. 本人及び家族のひきこもり
15. 複合的な悩みを抱えている(例えば、介護と子育てを担っている、病気で生活苦に陥っている等)	
16. その他( )	17. 特にない

**問 15 あなたは、悩みや不安があるときにだれ（どこ）に相談しますか。**  
**（当てはまる番号すべてに○）**

- |                              |                     |       |
|------------------------------|---------------------|-------|
| 1. 家族・親族                     | 2. 近所の人             | 3. 友人 |
| 4. 職場の人                      | 5. 病院など医療機関・薬局      |       |
| 6. 介護サービス事業所（デイサービス・ヘルパー等含む） |                     |       |
| 7. 介護支援専門員（ケアマネジャー）          | 8. 民生委員・児童委員・主任児童委員 |       |
| 9. 市役所の相談窓口                  | 10. 社会福祉協議会         |       |
| 12. 障がい者相談支援センター             | 13. こども園・幼稚園・学校     |       |
| 14. 地域福祉相談センター（※）            | 15. 地域食堂（※）         |       |
| 16. 相談できる人や相談先はない            | 17. 相談しない           |       |

※「地域福祉相談センター」とは、介護、障がい、育児、生活困窮などの分野を超えた困りごとや相談を一旦丸ごと受け止め早期支援に繋げるため、市内 25 か所に設置されているセンターのこと。

※「地域食堂」とは、「子どもたちが安心して過ごせる居場所」「地域のさまざまな人が集う交流の場」として、世代や分野を越えてつながる場のこと。

**問 16 あなたは、福祉に関する情報をどこから入手していますか。**  
**（当てはまる番号すべてに○）**

- |                          |                     |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 行政の窓口や広報誌・お知らせ        | 2. 社会福祉協議会          |
| 3. 自治組織等の役員や回覧板          | 4. 家族・親族            |
| 5. 近所の人や友人など             | 6. 民生委員・児童委員・主任児童委員 |
| 7. 医療機関・介護従事者            | 8. 新聞、テレビ、ラジオ       |
| 9. 書籍や雑誌                 | 10. インターネット・ホームページ  |
| 11. ツイッターやインスタグラムなどの SNS |                     |
| 12. こども園・幼稚園・学校          | 13. 特に入手していない       |

**問 17 市の情報発信に関する利用状況等をお答えください。**  
**（ア～エの各項目について 1 つに○）**

名称	よく 利用する	ときどき 利用する	あまり 利用しない	全く 利用しない
ア. 市のホームページ	1	2	3	4
イ. 市の広報紙	1	2	3	4
ウ. 市のケーブルテレビ	1	2	3	4
エ. 市の SNS（LINE など）	1	2	3	4

問 18 あなたは、福祉についてどのような情報を知りたいとお考えですか。  
(〇は3つまで)

1. 健康づくり、介護（認知症）予防に関する情報
2. ひきこもりなど社会的に孤立しがちな人への支援に関する情報
3. 生活困窮者への支援に関する情報
4. 各種相談窓口に関する情報
5. 子どもへの支援や福祉サービスに関する情報
6. 高齢者や障がいのある人についての支援や福祉サービスに関する情報
7. 認知症のある人についての支援や予防に関する情報
8. ボランティア活動や、非営利での社会貢献活動を行う団体に関する情報
9. 地域で交流ができるサロンや集いの場に関する情報
10. 健康づくりや生きがいづくりのための学習機会（講座や教室）に関する情報
11. 成年後見制度に関する情報
12. その他（）
13. 特にない

## 5. 災害への備えや災害時の対応について

問 19 あなたは、地震や風水害、火災などの災害に対して、どのような備えを行っていますか。（当てはまる番号すべてに〇）

1. 家具などの転倒防止
2. 避難場所や経路の確認
3. 災害時に必要な食料・飲料の準備
4. 地域の防災訓練などへ参加すること
5. 災害時に必要な備品（ラジオ・懐中電灯・携帯コンロなど）の準備
6. 災害時の連絡方法や集合場所などを家族・親族で話し合うこと
7. 近所や地域における助け合いの方法や要配慮者<sup>(※)</sup>を確認すること
8. 常日頃から、テレビ、新聞、インターネットなどで災害対策の情報を得ること
9. ハザードマップなどで居住地域がどれくらい危険なのかを確認すること
10. 個別避難計画<sup>(※)</sup>を作成すること
11. 鳥取市防災アプリをダウンロードしている
12. その他（）
13. 特に備えはしていない

※「要配慮者」とは、高齢者、障がい者、乳幼児、妊産婦など、災害時において特に配慮を要する人のこと。

※「個別避難計画」とは、避難行動に支援が必要な高齢者、障がい者等の方について、避難支援を行う者や避難先等の情報を個別に記載した計画のこと。（この計画は問 22 下段※印に記載のある制度の運用の一つです。）



問 20 あなたは、ご自身が災害にあわれたとき、主にだれ(どこ)を頼りにしますか。  
(○は3つまで)

- |                        |                   |
|------------------------|-------------------|
| 1. 家族・親族               | 2. 近所の人           |
| 3. 友人                  | 4. 自治会・消防団などの地域組織 |
| 5. 市役所                 | 6. 社会福祉協議会        |
| 7. 警察・消防署              | 8. その他 ( )        |
| 9. 頼りにする人や頼りにできるところはない |                   |

問 21 鳥取市では、災害時に最も被害を受けやすい高齢者や障がい者等の日頃からの把握や、災害時における速やかな避難支援を目的に、自治会(町内会・集落)ごとに「避難行動要支援者支援制度<sup>(※)</sup>」に取り組んでいただいています。あなたは、「避難行動要支援者支援制度」を知っていますか。(1つに○)

- |            |                    |
|------------|--------------------|
| 1. よく知っている | 2. 名称を見聞きしたことがある程度 |
| 3. 知らない    |                    |

※「避難行動要支援者支援制度」とは、災害時に自力で避難することが困難な方が住民相互の助け合いにより、安全に避難等が出来るようにするための制度です。

問 22 避難行動要支援者が適切に避難するためには、避難を支援する人(避難支援者)が必要です。「避難支援者」は、要配慮者に対する普段からの見守りや、災害が発生しそうな場合・発生したときに災害に関する情報を伝えたり、一緒に避難したりするなどの支援を心掛けていただく方です(善意によって成り立つ地域の助け合いの一環であり、責任を伴うものではありません)。あなたは、避難支援者になることについて、どのように思いますか。  
(当てはまる番号すべてに○)

- |                                      |
|--------------------------------------|
| 1. 自分の家族、親族であれば、避難支援者になってもよい         |
| 2. 友人、知人であれば、避難支援者になってもよい            |
| 3. 町内の人や同じ自治会の人であれば、避難支援者になってもよい     |
| 4. 知らない人でも、避難支援者になってもよい              |
| 5. 自分自身が要配慮者である(高齢、障がい等により災害時に支援が必要) |
| 6. その他 ( )                           |
| 7. 避難支援者になりたくない                      |

問 23 災害時における助け合いを行う上で、あなたはどのようなことが重要だと思いますか。(○は3つまで)

- |                            |                     |
|----------------------------|---------------------|
| 1. 日頃からのあいさつや声かけ、付き合い      | 2. 地域の支援や配慮が必要な人の把握 |
| 3. 支援や配慮が必要な人に対する情報伝達体制の構築 |                     |
| 4. 地域における援助体制の構築           | 5. 災害ボランティアの育成      |
| 6. 日頃の避難訓練                 | 7. その他 ( )          |

## 6. 「地域共生社会」について

### 「地域共生社会」とは

制度・分野ごとの縦割りや支え手・受け手という関係を超えて、地域住民等が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会のこと。

問 24 お住まいの地域では、どのようなことが課題になっていると感じていますか。  
(当てはまる番号すべてに○)

- |                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 1. 少子高齢化の進行         | 2. 通院・買い物などの移動手段       |
| 3. 自治会や地域活動への参加者の減少 | 4. 地域の担い手不足            |
| 5. 近所や地域のつきあいの減少    | 6. 空き家の増加              |
| 7. ひとり暮らし高齢者世帯の増加   | 8. 緊急・災害時の体制           |
| 9. 世代間交流の減少         | 10. 子育て家庭の育児疲れやストレスの問題 |
| 11. 子どもの非行やいじめ      | 12. ひとり親家庭             |
| 13. ひきこもりの問題        | 14. 特殊詐欺・消費者トラブル       |
| 15. その他 ( )         | 16. 特にない               |

問 25 あなたは、地域における助け合いや支え合いの活動を活発にするためには、どのようなことが必要とお考えですか。(○は3つまで)

- |  |
|--|
| 1. 家庭・学校・職場などで、助け合いや支え合いのこころを育むこと        |
| 2. 日頃から近所や地域で助け合える信頼関係を築くこと              |
| 3. 地域の人同士が交流できるイベントなどを、行政や社会福祉協議会が支援すること |
| 4. 介護やボランティア活動の方法などの研修を、行政や社会福祉協議会が行うこと  |
| 5. 地域にボランティアなどの活動拠点や組織を整備すること            |
| 6. 若者や子育て世代が地域に住み、地域活動にも積極的に参加してくれること    |
| 7. その他 ( )                               |

問 26. 地域における福祉について市民と行政との関係はどうあるべきか、あなたの考え方は次のどれに近いですか。(1つに○)

- |  |
|--|
| 1 自分自身で自立していくため、自ら解決すべき課題を乗り越える努力をすべきである |
| 2 地域の住民同士が交流し、住民同士で支え合う仕組みづくりをすべきである     |
| 3 家族、地域の助け合いを基本としながら、足りない部分を行政が支援すべきである  |
| 4 住民も行政も協力しあい、福祉の充実のために共に取り組むべきである       |
| 5 行政の福祉サービスを基本としながら、足りない部分を市民が助け合うべきである  |
| 6 福祉サービスの提供は行政の責務であるため、市民が助け合う必要はない      |
| 7 わからない                                  |

問 27 私たち一人ひとりが安心して地域の中で生活していくために、住民のひとりとしてあなたにできることはどんなことがあるとお考えですか。(1つに○)

1. 地域活動やボランティア活動に積極的に参加する
2. 学校での行事など家族に関係ある範囲内の活動には参加する
3. できるだけ地域での出来事に関心を持つ
4. その他(具体的に \_\_\_\_\_ )
5. 特にない

問 28 あなたが住み続けたいと思う地域はどのような地域ですか。(○は3つまで)

1. 子どもから高齢者まで多世代が交流し、地域活動も盛んな地域
2. 常日頃から隣近所が互いを気づかい、助け合い・支え合いが自然とできる地域
3. 医療や介護サービスが受けやすい地域
4. 移動や買い物等、日常生活に不便を感じない地域
5. 緊急時や災害時に適切な支援を受けられる安全・安心の地域
6. 性別や人種等を理由に差別されない、人権が尊重される地域
7. その他( \_\_\_\_\_ )

## 7. 制度やしきみ、言葉の認知度について

問 29 次の名称や内容についてご存じですか。(ア～クの各項目について1つに○)

名称	名称も内容も知っている	名称は知っているが内容は知らない	名称も内容も知らない
ア. 地域食堂	1	2	3
イ. いきいきふれあいサロン	1	2	3
ウ. 孤独孤立防止サポーター (つながりサポーター)	1	2	3
エ. 地域福祉相談センター	1	2	3
オ. 地域包括ケアシステム	1	2	3
カ. 生活困窮者自立支援制度	1	2	3
キ. 地域共生社会	1	2	3
ク. 重層的支援体制整備事業	1	2	3

**【用語解説】**

- 「地域包括ケアシステム」 高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」が切れ目なく一体的に提供される体制のこと。
- 「生活困窮者自立支援制度」 経済的に困窮し最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方に対して、個々の状況に応じた支援を行い、自立の促進を図ること。
- 「地域共生社会」 制度・分野ごとの縦割りや支え手・受け手という関係を超えて、地域住民等が世代や分野を超えつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会のこと。
- 「重層的支援体制整備事業」 市町村における既存の支援や取組を活かしつつ、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、「相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施する事業のこと。

問 30 複雑化・複合化した社会問題に関する課題を示す次の言葉を知っていますか。

(ア～エの各項目について1つに○)

名称	言葉も内容も知っている	言葉は知っているが内容は知らない	言葉も内容も知らない
ア. ダブルケア	1	2	3
イ. ヤングケアラー	1	2	3
ウ. ワンオペ育児	1	2	3
エ. ワーキングプア	1	2	3
オ. 8050 問題	1	2	3

**【用語解説】**

- 「ダブルケア」 「子育て」と「親や親族の介護」の時期が重なったため、両方を並行して担わなければならない状態のこと。
- 「ヤングケアラー」 本来は大人がやるべき家事や家族の世話を日常的に行っている 18 歳未満の子どものこと。
- 「ワンオペ育児」 主に母親が家事と育児の両方の負担を一人で抱えている状態のこと。
- 「ワーキングプア」 働いて収入を得ているものの、その収入の水準が低く生活の維持が困難な状態のこと。
- 「8050 問題」 子どもの引きこもりが長年にわたることで親も高齢となり、80 代の高齢の親が 50 代の引きこもりの子どもを世話しながら同居することで、その親子が社会的に孤立し、生活が立ち行かなくなる等の問題のこと。

## 8. 「孤独・孤立問題」について

### 「孤独・孤立問題」とは

「孤独・孤立」の問題は、コロナ禍で、全国的に深刻化・顕在化してきました。中高年のひきこもりの子どもを支える親、「ヤングケアラー」と呼ばれる子ども、様々な事情があり、社会から孤立してしまうケースがあります。この問題は、誰にでも起こりうる問題として社会全体で取り組む必要があります。

問 31. あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。(1つに○)

- |          |                |          |
|----------|----------------|----------|
| 1. 決してない | 2. ほとんどない      | 3. たまにある |
| 4. 時々ある  | 5. しばしばある・常にある |          |

問 32. あなたは、自分には人とのつきあいが無いと感じることがありますか。

(1つに○)

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. 決してない | 2. ほとんどない |
| 3. 時々ある  | 4. 常にある   |

問 33. あなたは、自分は取り残されていると感じることがありますか。(1つに○)

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. 決してない | 2. ほとんどない |
| 3. 時々ある  | 4. 常にある   |

問 34. あなたは、自分は他の人たちから孤立していると感じることがありますか。

(1つに○)

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. 決してない | 2. ほとんどない |
| 3. 時々ある  | 4. 常にある   |

問 35. あなたは、普段どの程度、人(同居の家族を含む)と話をしていますか。電話やEメール、SNSも含めてお答えください。(1つに○)

- |              |                       |
|--------------|-----------------------|
| 1. 毎日会話をしている | 2. 2~3日に1回            |
| 3. 1週間に1回    | 4. 1週間に1回未満、ほとんど話をしない |

問 36. 「孤独・孤立問題」への対策で必要と思われるものは何ですか。(当てはまる番号すべてに○)

- |   |
|---|
| 1. 市民が「孤独・孤立問題」を知る機会の提供                     |
| 2. 支援が届いていない方を早期に把握するための行政の仕組みづくり           |
| 3. まわりに不安や悩みを抱えている人がいたら、声掛けや手助けをしようとする地域づくり |
| 4. 当事者が気軽に集まれる様々な居場所づくり                     |
| 5. 当事者が社会とつながるための居場所等への参加支援                 |
| 6. その他 ( )                                  |
| 7. わからない                                    |





問 41. あなたは、「鳥取市社会福祉協議会」の次の活動内容のうち、知っているものはどれですか。(当てはまる番号すべてに○)

1. とわり組福祉員・愛の訪問協力員による見守り活動
2. 生活支援コーディネーター（地域での高齢者等への生活支援の仕組み作りの推進役）
3. ふれあい型食事サービス（配食・会食を通じて見守り、安否確認をするサービス）
4. ふれあい・いきいきサロン（地域で気軽に集えるおしゃべりや会食等を行う場）
5. ふれあいデイサービス（健康チェック、レクリエーション等の介護予防のサービス）
6. いのちのバトン（救急時に備え、医療情報などを専用容器（バトン）に入れ保管する）
7. わが町支え愛活動（支え愛マップの作成を通じて、住民同士の見守りや支え愛を推進する）
8. 総合相談（心配ごと相談・弁護士や司法書士等による各種専門相談）
9. 生活福祉資金の貸付
10. ボランティア・市民活動センターの運営
11. ファミリー・サポート・センターの運営（育児や介護の援助を受けたい人で行いたい人が会員となり、助け合う組織）
12. 地域交流機材・レクリエーション用具・車いすの貸出し
13. 障がい者福祉サービス（ホームヘルパーの派遣等）
14. 介護保険事業（デイサービス等）
15. 金銭管理や福祉サービスの利用援助等（日常生活自立支援事業）
16. 法人後見・市民後見人の養成
17. 要介護者を支えるためのネットワークの構築
18. 高齢者の趣味の教室（囲碁・将棋・陶芸等）
19. 福祉学習サポーター（高齢者疑似体験・車いす体験など）
20. 交通弱者等の送迎（福祉有償運送事業・公共交通機関空白地有償運送事業）
21. その他（）
22. わからない



